

基準1 大学の目的

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
平成17	○ 教育研究活動の指針を「活力(Vitality)、創造(Originality)、貢献(Services)」として「VOS」の3文字で表現し明確にアイデンティティを掲げており、これをタイトルとした広報誌を発行することで教職員及び学生等への周知を図り、その実現に向けて努力している。(長岡)		
	○ 新入生オリエンテーションで実施している履修ガイダンス後に、アンケートを実施し、大学の目的・基本理念の理解度を確認しており、平成16年度及び17年度では、90%以上が概ね理解しているとの結果が得られている。(豊橋)		
	○ 入学生に対して、新入生オリエンテーションにおいて大学の教育理念・教育目標等を説明し、その上で、各課程の学習・教育目標が記載されているカードを配布、携帯させることにより、周知を徹底させている。(豊橋)		
	○ 「人間」と「科学」の調和という理念のもとで、「情報分野の教育研究を中心とし、実体験を重視した教育を行う」、「実践的学習とコミュニケーション能力に重点を置く」など、特徴のある目的が明確に定められている。(公立はこだて未来)		
平成18	◎ 大学を紹介するテレビ番組「ガンダイニング」を放送し、大学の目的や活動状況に関する情報を地域社会へ浸透させるように努めている。(岩手)		
	◎ 「地域に開かれた大学」であることを社会にアピールするため、キャンパス全体をミュージアムとして開放している。(岩手)		
	◎ 教養教育科目として『秋田大学論Ⅰ、Ⅱ』を開設することにより、学生が大学の目的、特性、現況、将来像についての理解を深め、学生に大学目的の周知を図り、かつ秋田大学での主体的学習を促進している。(秋田)		
	◎ 大学の基本理念が「MORE SENSE (使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力として—)」と表現されているとともに、「地球をまわそう。MORE SENSE! 農工大」というキャッチフレーズを掲げているなど、大学の目的の周知を図る取組が積極的に行われている。(東京農工)		
	◎ 大学の目的を学生に周知させるため、オリエンテーションやガイダンスのほかに、導入教育として「大学入門講座」を必修科目として開講している。(徳島)		
	◎ 建学の理念の中で、芸術文化のもつ普遍的な美に加え、美術・工芸・音楽・芸能等さまざまな分野における沖縄文化固有の美を追究することを明確に掲げている。(沖縄県立)		
平成19	◎ 大学の使命に島嶼県である沖縄県の県民への貢献を挙げている。(沖縄県立看護)		
	○ 「研究第一」・「門戸開放」の理念の下に、明確な目標をもって、多様な努力をしている。(東北)		
	○ 教育研究組織の再編を契機に全学を挙げて広報活動に取り組み、大学内外に大学の目的や理念を周知している。また「新生福島大学宣言」は、全学的な検討経過を通して当該大学の理念に対する構成員の意識を高めるとともに、広く社会に当該大学の特徴をアピールしている。(福島)		
	○ 「千葉大学憲章」の理念をもとに、その具体化のために「千葉大学行動規範」を定め、役員と教職員の行動の拠り所としている。(千葉)		
	○ 言語を中心とした研究教授を通じ、世界諸地域を理解すると言う目的が学則を通じて極めて明快に示されており、その達成計画について、中期目標や中期計画に明瞭に示されている。(東京外語)		
	○ 大学の「研究教育憲章」に基づき、大学の性格を「社会科学の総合大学」として明確に打ち出し、大学の使命として「構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人の育成」などの3点を掲げ、これらを通じて大学の個性ある教育目的を鮮明に表現している。(一橋)		
	◎ 大学の目的や諸活動を新聞で定期的に全国に発信している。(岐阜)		
	○ 当該大学の基本理念について、大学首脳がその継承、維持に努めている。(京都)		
	○ 当該大学の目的及び歴史、使命を直接教職員や学生に対して伝える取組の一つとして、教養基礎科目「特別授業—大阪教育大学の歴史と使命—」を開設し、学長が担当している。(大阪教育)		
	○ 和歌山県に立地する唯一の国立大学として、和歌山大学グランドデザインなどに掲げている地域貢献機能を発揮することにより、地域社会において期待され支持されている。(和歌山)		
	○ 愛媛大学憲章を学内随所に掲げ、教職員及び学生に周知している。(愛媛)		
○ 教育研究活動の基本理念を「九州大学教育憲章」と「九州大学学術憲章」として明文化し、それに基づき、すべての学部・学府において、教育目的を明確に定めている。(九州)			
○ 教育研究活動の目的共有を促進するため、「4+2+4アクションプラン」を策定している。(九州)			

基準1 大学の目的

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
	<p>◎ 原爆の惨禍を経験し、復興とともに歩んできた大学として、平和を実現するために積極的に海外に出て国際社会に貢献することを目指し、「地域」と「国際」の双方に貢献できる人材の養成を目的として掲げている。(長崎)</p> <p>◎ 大学ウェブサイトの「長崎大学の理念と特色」は英語、中国語、韓国語にも翻訳されており、国際交流に資している。(長崎)</p>		
	<p>◎ 日本の南端に位置する鹿児島県の地理的環境と歴史の経緯と伝統を踏まえて、大学の目標を定め、地域と世界に貢献することを明確に示している。(鹿児島)</p>		
	<p>○ スポーツ選手の活躍や地域貢献事業の浸透によって、大学の目的が社会に広く公表されている。(鹿屋体育)</p>		
	<p>○ 国内で最高水準の大学共同利用機関の優れた研究環境を活用した高度の大学院教育を行う大学として、歴史が浅いにも関わらず、大学の理念、目的、広報などの活動が明確である。(総合研究)</p>		<p>◎ 「大学の知名度をさらに向上させるよう、もっと大学をPRしてほしい」との意見が学生及び教職員にある。(総合研究)</p>
	<p>○ 創設準備委員会がまとめた「大学の目的」を基に、自己点検・評価においてこの目的を具体化し、補完するために「基本的な目標」や「新構想の大学としての機能」を自ら設定し、構成員に周知徹底している。(北陸先端)</p>		
	<p>◎ 建学の理念を図案化した校章、目的を記した銘板の設置、創立者の生前の生活に接することができる記念館の設置、創立者の著書『ごもくめし』のCDの配布など、多様な方法で目的の周知を図っている。(大妻女子)</p> <p>◎ 校訓「恥を知れ」を今日的な課題と結びつけて周知、徹底させている。(大妻女子)</p>		
平成20	<p>◎ 学則第1条に定められた目的は、“海洋国日本における唯一の海洋に関わる専門大学”を標榜する国立大学としての当該大学の理念と、教育の目標を具体的、かつ、明確に表現している。(東京海洋)</p>	<p>◎ 目的は、構成員に周知され、社会にも公表されているが、当該大学が、“海洋国日本における唯一の海洋に関わる専門大学”を標榜する国立大学として、教育研究を実践し、学生が学習を進めるに当たっては、目的の深い理解を構成員に促し、また、社会から理解を得るための一層の努力が期待される。(東京海洋)</p>	
	<p>◎ 「神戸大学ビジョン2015」として近い将来のビジョンを明確に設定している。(神戸)</p>		
	<p>◎ 目的を明確に定め、「ヒューマンサービス」の理念が構成員に十分に周知されている。(神奈川県立福祉)</p>		
	<p>○ 大学の長期的展望に基づく「基本計画」を策定し、それが大学の中期目標・中期計画の基本となっている。(大阪市立)</p>		
	<p>◎ 大学の目的や達成しようとする成果が具体的かつ明確に定められ、十分に周知されている。(宮崎県立看護)</p>		
	<p>◎ 「光」と「起業」をキーワードとする、明確な目的を掲げている。(光産業創成)</p>		
平成21	<p>○ 大学の基本理念として「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」を明確に定め、その目的や現況について、学内外に対して多様な媒体を用いて広く周知・公表されている。このことは、大学としての説明責任を果たしているとともに、大学志願者や構成員、関係する多くの市民に対して、当該大学に関する十分な理解を周知徹底しようとする姿勢を鮮明に表したものである。(北海道)</p>		
	<p>○ 法人化に先立つ平成13年度の時点から、「大学の理念、目的、目指す大学像」を明らかにしている。またその後も諸方針等を設定して取り組んでいる。(茨城)</p>		
		<p>◎ 当該大学は、「世界の中の東京大学」としての基本理念を掲げ情報発信しているが、海外向けの内容に一層具体性を加えることが期待される。(東京)</p>	
	<p>○ 2018年創立100周年に向け、「UECビジョン2018～100周年に向けた挑戦～」を通じた大学改革を行っている。(電気通信)</p>		
	<p>◎ 基本構想として工科大の世界拠点として、異分野との融合による新たな科学技術を創成し、有為の人材を数多く世に出すことを目指す「工科大学構想」を掲げ、この構想を実現するための教育研究理念を「ひとづくり」、「ものづくり」、「未来づくり」としており、これらの理念・構想は、大学の構成員にも非常によく理解され、それを実現するための目的及び使命を明確に述べている。(名古屋工業)</p>		
	<p>○ 学長が入学式で大学の目的を説明し、大学ウェブサイトでは、学長と学生との対話形式により、目的がわかりやすく掲載されている。(奈良教育)</p>		
	<p>◎ 大学憲章を制定して、大学の目的、理念、使命を学内外に周知するとともに、環境方針を定め、附属病院を含む全学での環境マネジメントシステム(国際規格ISO14001準拠)の認証取得によって、教育研究のさらに高い水準を目指している。(島根)</p>		
	<p>◎ 佐賀大学憲章において、「教育先導大学」を標榜し、大学の向かうべき方向性を鮮明に示している。(佐賀)</p>		

基準1 大学の目的

	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
	○ 広報用の冊子『熊本大学の立つところ目指すところ！』を発行して大学の理念・目的について広く周知・公表している。(熊本)		
	○ 当該大学の理念を実現するために教育・研究・社会貢献・大学運営についての行動指針を「京都市立大学行動憲章」として、広く社会に宣言している。(京都市立)		
	○ 大学の目的に「地域社会との自由かつ緊密な交流連携」や「地域産業の振興に寄与」などを盛り込み、公立大学法人としての立脚点を明確にしている。(岡山県立)		
	○ 学長及び理事長が担当する基盤教育科目「大学論・学問論」において、大学の目的等を講義している。(北九州市立)		
平成22	◎ 『筑波スタンダード』により、学士課程における教育の目標とその達成方法及び教育内容の改善の方策を含む教育の枠組みを明らかにし、広く社会に公表している。(筑波)		
	◎ 当該大学の活動理念として「東京藝術大学の使命と目標」を策定し、我が国唯一の国立総合芸術大学として、我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが当該大学の使命であるとの考えの下、基本的な方針及び養成しようとする人材像を含め達成しようとする基本的な成果等について明示している。(東京芸術)		
	○ ウェブサイトや大学概要等に大学の目的が明示されているのに加え、海外に直接出向いて行うプロモーション活動においても説明しており、わかりやすい形で社会に広く公表されている。(政策研究)		
	◎ 公立大学法人化後に「福島県立医科大学ビジョン2008」を策定し、今後の方向性を明らかにしている。(福島県立医科)		
	◎ 静岡県が明日の地域・社会の発展に貢献する人材を育成するために、地方自治体の主導により設立され、公立大学法人に移管した大学であり、この目的が強く意識されており、文化・芸術に理解と知識・技能を持つ人材を育成するとして設立趣旨は明快である。(静岡文化芸術)		
	◎ 愛知県公立大学法人の設立者である、愛知県が定めた中期目標において、公立大学の使命である地域連携の強化を独自の目標として掲げている。これを受けて、一般の人を対象とした公開講座、芸術資料館での展覧会、奏楽堂での演奏会等を多数開催するとともに、地域文化団体主催の展覧会や演奏会、各種催し等への演奏参加、「アーティスト・イン・レジデンス」の開催、「愛知スーパーハイスクール」への参加、県あるいは市町村の文化事業等への協力等、様々な形で社会参加を行い、地域文化の振興を通じて地域に積極的に貢献するとともに、学生の教育や教員の研究にも多大な効果をもたらしている。(愛知県立芸術)	○ 新設された「愛知県立芸術大学サテライトギャラリー」が名実ともに大学の芸術発信拠点となることが期待される。(愛知県立芸術)	
		○ 配布文書、テレビ・ラジオ及びウェブサイト等の多様な手段によって、社会一般に対しても、大学の目的の周知を図っているが、より広く周知するよう一層努力することが期待される。(放送)	
平成23	◎ 聴覚・視覚障害者を対象とする我が国唯一の高等教育機関として目的を明確に定め、聴覚・視覚障害者の社会自立、参画、貢献の促進を目標に、率先して社会に貢献できる専門職業人を養成する基本目標の実現のための教育理念を明快にしている。(筑波技術)		
	○ 「幅広い知識に基づく総合的判断力と、豊かな感性に基づく高い創造性と多視点性を養う」、「実践的学習とコミュニケーション能力に重点を置く」等、特色のある教育目標が明確に定められている。(はこだて未来)		
	◎ 平成23年3月に教職員・学生の参加の下に、大学憲章を制定し学内外に公表している。(山梨県立)		
	◎ 建学の理念である「和」の精神は、大学関係者に広く周知されており、特に、1年次に履修する必修科目の「基礎ゼミ」において、理解を深めている。(聖徳)		